

また、暑い夏がやってきます。こまめな水分補給を行うなど健康管理には十分に注意して、楽しい夏にしたいですね。

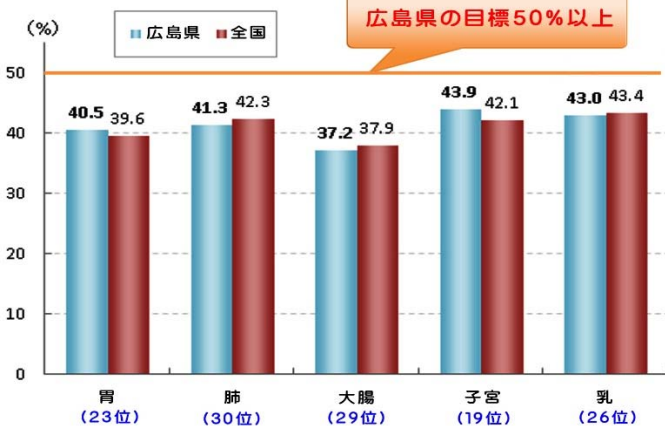
ところで、7月12日は「人間ドックの日」だそうです。これは昭和29年(1954年)7月12日に日本で初めて人間ドックが行われたことに由来します。当時は「短期間入院特別健康精査」と堅苦しい呼び方をされていましたが、新聞記事によって「人間ドック」という巧みなネーミングがされ、やがてこれが定着したそうです(ちなみに、「ドック」は船渠(船を修理・点検するための設備)を意味する英語(dock)です。)

当院でも各種健診・人間ドックを実施していますので、お気軽にお問い合わせください。



健診のホント

「健康だから大丈夫」病院に通っているから関係ない「忙しくて行く時間がない」なんて思っていますか？ 実は、健診を受診した方の中で、全く異常のなかった人はわずか3%。知らないうちに、あなたのカラダも生活習慣病予備群になっているかもしれません。



広島県と全国の検診受診率

職員紹介



清掃職員のみなさん

ジメジメした梅雨も、あと少し。足跡や、雨だれを、いつも気にしながら掃除を担当させていただいています。ビルックス株式会社の清掃職員です。

私たちは、日頃より研修を受け、院内感染の防止を意識した清掃に取り組んでいます。安芸津病院旧棟は昭和49年に建設され、新棟は平成3年に建設され26年が経過していますが、建物は古くても、清掃することで生き返ります。外来で通院される患者さまが気持ちよくご利用して頂けるように、入院されている患者さまが快適な療養生活を送って頂けるように、日々の清掃を怠りません。病室、廊下、トイレ、お風呂などの、汚れや、くすみなど、

気になる点がございましたら、お気軽にお声かけください。まだまだこれからも、清掃作業に磨きをかけていきますので、よろしくお願ひします。



相談業務を充実!

社会福祉士 森 晶啓

今年の4月より県立安芸津病院の相談員(社会福祉士)として、入院患者様の退院支援を中心に様々なご相談に応じております。以下のようなご心配やお困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

【ご心配・ご相談の一例】

《入院患者様》

- 退院して自宅に帰ったあとの生活(介護)が心配
- 自宅での生活が難しい場合に入居できる施設や病院について教えてほしい。
- 入院に伴う経済的な負担を減らすことができる制度等があれば教えてほしい。

《外来患者様》

- 自宅から通いやすいクリニックや診療所を教えてほしい。
- 医療費だけでなく介護サービス費の負担も多く、家計が苦しい。
- 同居の家族がおらず、病気や障害の影響で自宅生活の継続が難しくなってきた。



《相談風景》



正面玄関入ってすぐのところ
(こちらで勤務しております)

《相談窓口》

デング熱感染患者発生のお知らせ



6月5日に、海外から帰国した人がデング熱を発症した旨の情報提供がありました。県内では、今年度初の発生例(輸入症例)になりますので、お知らせします。

ジカ熱やデング熱は、蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

やぶなど蚊のいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

また、ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

ヒトスジシマカは、背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に、日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

